

# インド学チベット学研究

JOURNAL OF INDIAN AND TIBETAN STUDIES

No. 1

## 第 1 号

- 神子上惠生 唯識学派による外界対象の考察 (2)  
—TattvasaṃgrahaとTattvasaṃgrahapañjikāの第23章  
外界対象の考察—..... (1)
- 若原雄昭 仏教徒のジャイナ教批判 (2)  
—Tattvasaṃgraha(-pañjikā), Syādvādaparīkṣā 研究—..... (57)
- 藤田祥道 『五百頌般若経』について  
—試訳(承前)—..... (86)
- 那須円照 有部の形実有論と経量部の形非実有論 (上) ..... (108)
- 原田和宗 <経量部の「単層の」識の流れ>という  
概念への疑問 (I)..... (135)

執筆者紹介

編集後記

1996 年

インド哲学研究会

## 執筆者紹介

神子上恵生 龍谷大学文学部教授

若原雄昭 龍谷大学文学部講師

藤田祥道 龍谷大学文学部非常勤講師

那須円照 龍谷大学大学院文学研究科博士後期課程

原田和宗 寺院副住職

## 編集後記

ここに創刊するインド学チベット学研究は、インド哲学研究会（代表：神子上恵生）発行の学術雑誌である。当誌はインド学チベット学の諸分野にわたる幅広い研究成果の発表の場として年一回の定期的な発行が計画されている。編集者の神子上恵生先生は周知の通り長年にわたり龍谷大学での研究・教育活動にご尽力されているが、今年めでたく還暦の年を迎えられた。当誌の創刊はこれを節目にしてさらに今後の教育・研究活動を全うされんとする先生ご本人の意向に基づくものである。

当創刊号には5編の論文が掲載された。先生ご自身の論文が巻頭を飾っていることは門下生の一人としてよこびにたえない。そして残る4編の論文も、執筆者は龍谷大学で先生に直接教えと指導を受けた者である。こういう性格からして本号は還暦記念号とするのがふさわしいのであるが、多くの他の有縁の方々に原稿執筆の依頼も出しておらず、あえてそのような形を取らずに発刊することとなった。

なお本誌は今春3月の発行を予定していた。しかし創刊号ということで不慣れな点も多く、また諸般の事情も加わってかなり遅れてしまった。しかし発刊の日付は1996年3月とした。

また最後になったが、本書の編集工程の諸作業にあたり杉田瑞枝女史に多大な便宜を図っていただいた。さらに出版原稿の最終的なチェックには那須円照氏の助力を得た。ここに記して謝意を表したい。

（乗山 記）

P.S. 本号の購入希望者には実費で送付する。  
第2号は1997年6月刊行の予定である。

インド学チベット学研究 1

1996年3月1日発行

編集者 神子上恵生  
発行者 インド哲学研究会

(代表者 神子上恵生)

京都市下京区七条大宮

龍谷大学文学部

神子上(生)研究室気付

電話(075)343-3311 (大代表)

e-mail:

mikogami@rnoc.fks.ryukoku.ac.jp.

印刷所

# JOURNAL OF INDIAN AND TIBETAN STUDIES

(INDOGAKU TIBETTOGAKU KENKYU)

No. 1, 1996

## CONTENTS

Esho MIKOGAMI,

Vijñānavādins' Criticism of External Objects

—A Translation with the Interpretation of the Chapter 23

of Tattvasaṃgraha and its pañjikā—.....(1)

Yusho WAKAHARA,

Buddhist's Criticism on Jainism (2).....(57)

Yoshimichi FUJITA,

On Pañcaśatikā Prajñāpāramitā (II).....(86)

Ensho NASU,

On the Existence of Saṃsthāna in the Abhidharma Philosophy (1).....(108)

Waso HARADA,

Some questions on the concept

of "Der „einschichtiger" Erkenntnis-strom der Sautrāntikas" .....(135)

Editor

Eshō Mikogami

Association for the Study of Indian Philosophy

Kyoto, Japan.